

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員に理念が目につく所や名札の裏に理念を掲げているが理解している職員と理解していない職員の温度差がある。	「その人らしくあるがままに」の理念を職員全員がしっかり共有して理解し業務を行う。	職員が出勤したら、もやい内に貼ってある理念に目を通す。又、ミーティングにて理念の大切さを周知徹底する。	12ヶ月
2	25	個別支援は充実している反面、歩行が出来る方に偏っており車椅子の方の個別支援が出来ていない。	入居者の方全員の方をまんべんなく個別支援を行う。	外出が出来ていない方をどうしたら日頃からお連れ出来るかを職員で話し合い、今後散歩や買い物にお連れする。	6ヶ月
3	35	終末期に向けての経験や知識が曖昧であり共有出来ていない。	終末期に向けて職員の意思統一を行う。	看取りについて経験者からの話しを職員全員で共有する。また、内部研修や外部研修に参加し知識を向上させていく。	12ヶ月
4	38	職員によって、客観的に考えて入居者の方に対する言葉遣いや対応が出来ていない方がいる。	職員全員が人生の先輩として敬い、言葉遣いや対応の仕方が外部の方が見てもあたり前に出来る。	言葉遣いや対応の仕方が出来ていない職員には管理者がなぜ出来ないかをマンツーマンで話しあったり、ロールプレイングを行う。	12ヶ月
5	27	入居者の方によって心身状態・筋力低下されている方も見られ事故に繋がる危険性がある。	職員が日頃から目配り、気配り、心配りを行い入居者の方が安心して生活が送れる様に支援する。	ミーティングにて各々の入居者の方について話し合い行い情報共有を行う。特に、職員は入居者の目線に立つ事を意識して危険はないかを考える。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。